

武蔵野市議会議員

支えあうコミュニティ 持続可能な未来

内山 さとこ 活動報告

2014 夏号 No.23



内山さとこ&のびのび歩む会

〒180-0012 武蔵野市緑町 2-3-A7-501

TEL 080-3758-1057

Email satochi@y8.dion.ne.jp

武蔵野の空襲から70年 次世代へ平和の尊さを語り継ぐ

今年、かつて武蔵野市にあった中島飛行機武蔵製作所が空襲をうけて70年の節目の年です。時の内閣によって、集団的自衛権の行使を可能とする解釈改憲が強行されるといふ事態の中、内山さとこは、自治体からの平和施策の必要を訴え一般質問しました。

二度と戦禍を繰り返さないために

昭和19年11月24日、太平洋戦争中、戦闘機のエンジンを製造していた軍需工場・中島飛行機武蔵製作所を目標として、武蔵野に初めて米軍の空襲がありました。終戦までの間に繰り返された空襲により、勤労動員学徒や近隣住民など220人以上が犠牲となりました。

こうした歴史を踏まえ、平成23年、11月24日を平和の日とする武蔵野市平和の日条例が提案され、市議会は全会一致で可決しました。また、基金条例を改正し、平和施策を財源面で保障するよう国際交流と平和のための基金としました。

11月24日が平和の日とされてから市主催の平和事業が行われるようになり、この日を中心に市民企画も連日のように催されます。こうした市民活動を市が支援すること、平和を願う草の根の活動がさらに広がることを期待されます。

次世代へ語り継ぐことの大切さ

来年は太平洋戦争終結から70年、戦争を知らない世代が国民のおよそ8割を占めるようになり、戦争体験者は高齢化しています。一昨行われた、被爆地長崎に中高生を派遣する青少年の平和交流派遣事業は、若い世代に平和を語り継ぐ上で意義深い事業です。「武蔵野から伝える戦争体験記録集」には、参加した中学生の作文が掲載されています。『東京より平和への関心がまち全体として高く』、テレビでしか知らなかった平和式典について、『戦争体験していない学生が、式典の多くの場面で活躍していることに感心した』とあります。

若い世代の平和交流事業の継続、発展を求めたところ、来年度、世界連邦宣言自治体協議会の事業などを活用した派遣を検討したい、との答弁を得ました。

武蔵野中央公園に平和祈念の礎を

東京都立武蔵野中央公園東側が、1.1ヘクタール拡張されることになり、整備計画では「樹林ゾーン」と位置づけられています。しかし、中央公園一帯は中島飛行機武蔵製作所跡であり、今年1月行われたパブリックコメントでも、52通75件のうち、中島飛行機跡や史跡に関する意見は30件で最も多く寄せられました。

今後、こうした歴史的経緯を踏まえて検討するよう東京都に働きかけるべきと求めたところ、市長も、平和の尊さを伝える拠点としての整備を強く働きかけると答えました。

*6月26日の本会議で「憲法解釈の変更による集団的自衛権行使の容認に反対する意見書」を可決(賛成14 反対8)、国に提出しました。



墨田区の都立横網町公園には、昭和20年3月10日東京空襲での犠牲者を追悼し平和を祈念する碑があり、毎年子どもたちのデザインを募集し季節ごとに様々な草花で彩られる